

～バリアフリー教室の開催～

平成20年10月9日（木）JR米沢駅を会場に、国土交通省東北運輸局山形運輸支局主催、山形河川国道事務所、米沢市、米沢市社会福祉協議会の共催で、バリアフリー教室が開催されました。本教室は、急速な高齢化や身体障害者の自立と社会参加の要請に対応した行動しやすい環境づくりを目指すため、高齢者、身体障害者の疑似体験・介助体験を通じて、バリアフリーについての理解を深めるとともに、次世代を担う子供達に困っている人を見かけたら助け合っていこうという「心のバリアフリー」も併せて育成しようとするものです。

今回は、米沢市立興譲小学校の4年生37名が、①車いすの利用・介助体験②視覚障害者の疑似・介助体験③高齢者の疑似体験を行いました。実際に車いすで生活されている方や、視聴覚障害者のアドバイスを受けながら、3班に分かれてそれぞれ体験しました。会場となったJR米沢駅では、開催時間内に山形新幹線を含む8本の電車が離発着し、一般の方々も利用する中、子供達は真剣に取り組んでいました。



←①車いすの体験では、アドバイザーの平間さんから「乗っている人が驚かないように段差やスロープでは一声掛けて、ゆっくり進んであげてね。」とアドバイスを頂きました。

ボタンどこ？
思うようにボタンが押せないな...



↑②視覚障害者体験は、電車が発着する狭いホームでの歩行に、やや緊張。慎重に進みます。

←③高齢者疑似体験では、手や足には重りを、顔にはゴーグルをつけて、高齢者が動きにくいことや物が見つらいことを体験。普段は簡単に出来る操作でも、お年寄りには一苦労。

体験後の意見交換会では、「一緒に暮らしているおばあちゃんの苦労が解りました。これからは、いろいろお手伝いしてあげたいです。」という発言がありました。

